

科 目 名

衛生化学Ⅱ（食品衛生学）

Hygienic chemistry Ⅱ (Food hygiene)
--

3年 前期 2単位 必修

山 口 忠 敏

概 要

人の健康は、生体内における生理状態（内部環境の恒常性の維持）によって保たれている。しかし、その生体を取り囲む環境（外部環境）からの様々な侵襲要因によって、生理状態はたえず影響される。その侵襲要因に対して、恒常性の維持が出来なくなったとき、健康は破綻して疾病へと転化する。その健康へ影響する要因の一つである食品について学び、健康被害からの防御の方法と技術を習得する。

授業計画

総論 食品と健康 C11(1)-2-1~10

各論 1. 食品の品質と管理 C11(1)-2-1,2,3,4

各論 2. 食品由来の発ガン物質 C11(1)-2-5,6

各論 3. 食品添加物 C11(1)-2-6,7,8

各論 4. 食品衛生のための法規制 C11(1)-2-9,10

各論 5. 保健機能食品 C11(1)-2-9

その他、随時、人の健康に関するニュースについて衛生化学的な面からの解説 大学独自

評価方法

期末試験および出欠のチェックをかねた小試験、課題についてのレポート提出等の総合で評価する。

教 材

教科書：衛生薬学—健康と環境—（廣川書店 新井洋由、早川和一 編）

参考書：国民衛生の動向（廣濟堂 厚生統計協会 編）

履修上の注意

世間における人の健康に関する諸問題について、問題解決の意識を持って理解するように努める。